

バドミントン競技における連続得点の有効性
泉 雄祐（競技スポーツ学科 コーチングコース）
指導教員 鳥羽 賢二

キーワード：連続得点，ルール改正

1. 研究動機と目的

バドミントン競技は、2006 年にラリーポイント制が導入され大きなルール変更があった。それ以降、得点に対する考え方や戦術の変更が必要となった。

新ルールは、サーブ権の有無にかかわらず得点が入るシステムであり、相手のミスでも得点が加算される。それらのことにより、ゲームの中での試合運びが、勝敗に影響を及ぼすことになった。ゲーム中のミスが直接相手の得点になるため、より正確な攻撃を選択し、時には決定打を打つよりミスせずに安全にラリーを繋ぐ打ち方を選択している。つまり、ミスを最小限に抑え、より多く連続得点を得ることが、新ルールにおいて試合で勝利できる近道となってきている。

そこで本研究では、ラリーポイント制ゲームの得点内容に着目し、連続得点数と勝敗との関係を明らかにする。また、理想的なゲーム展開のモデルを提示する。

2. 研究方法

西日本バドミントン学生大会の 100 試合分のスコアシートから連続得点のパターンを分析し、検証する。そこから連続得点の 1 ゲーム当たりの回数と勝率の関係性を分析した。

3. 調査結果と考察

勝利時の 2 連続得点の回数は 100 試合中 478 回、敗北時の 2 連続得点は 416 回となった。100 試合の中で 62 回の差があらわれ、最低連続得点である 2 連続得点は 1 試合平均 3.07 回という結果が出た。

次に勝利時の 3 連続得点の回数は 100 試合中 381 回、敗北時の 3 連続得点は 268 回となった。100 試合の中で 113 回の差があらわれ、3 連続得点は 1 試合平均 2.66 回という結果が出た。

4. 理想の連続得点と回数

1 ゲームの中で 2 連続得点を 3 回とると勝率は 40% となり、4 回とると勝率は 76% となる。同様に 3 連続得点を 2 回とると勝率は 30% となり、3 回とると勝率は一気に 80% になる。3 連続得点を 3 回以上とることが 1 番勝利に近づくことが検証された。

至極当たり前のことであるが、サーブ権を相手に移さないことが重要となる。得点を入れた側に与えられるサーブ権は連続得点をする機会となる。相手にサーブ権を与えてしまうことにより連続得点はストップする。図 1 に示した通り、サーブ権を与えない（サービスエースもしくは、ラリーを制する）という高い意識を持ち、連続得点をより多く得ることが勝利することとなる。

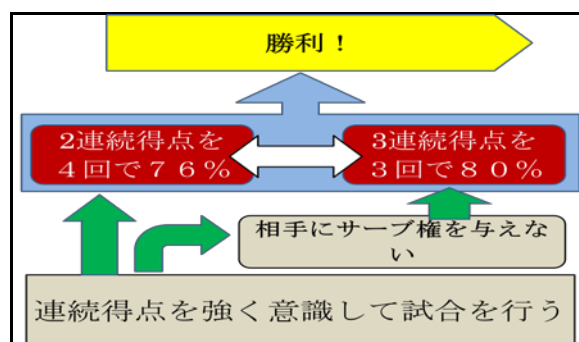


図1 連続得点の理想勝利モデル（筆者作成）

引用・参考文献

公益財団法人バドミントン協会HP

<http://www.badminton.or.jp/> 11月23日閲覧